

教科名	国語
科目名	古典B（漢文）
グレード	全グレード
単位数	単位
対象学年	高校3年

科目の概要	漢文読解に必要な文法・知識を身に付け、日本文化並びに日本文学に大きな影響を与えてきた漢文の世界を学ぶ。また、入試問題演習を行うことにより大学入試に対応できる能力を身に付ける。
科目の目標	①一年次・二年次で学習した文法事項を確認する。 ②大学入試に必要な知識事項、文法事項を習得する。 ③副教材や補助プリントにより、大学入試対策演習を行うと共に、入試突破のために必要な事項の確認を行う。 ④大学入試に出題されるレベルの漢文について本文読解が概ねできるようになる。
使用教科書	『高等学校 古典B 漢文編』（第一学習社）
使用副教材	①古典文法：『体系古典文法』（数研出版） ②漢文文法：『古典文法10題ドリル 漢文編』（駿台文庫） ③資料集：『国語総合便覧』（第一学習社） ④問題集：『センター試験国語（古典）過去問題集』（尚文出版）
評価の方法	定期考査（年2回）、授業の出席状況及び学習に取り組む態度などを総合的に見て評価する。
学習の方法	『センター試験国語（古典）過去問題集』を例に学習方法を説明する。 【予習①】必ず事前に解いて授業に臨むことが最低条件である。その際、「20分でどこまで解けたか」を計測するとよい。センター試験の国語は試験時間80分で大問4つであるから、漢文はその4分の1すなわち20分という単純計算が成り立つからである。 【予習②】その上で「全問解くのに何分かかったか」も計測する。2つの時間差が、克服すべき課題の一つということになる。 【予習③】可能であれば、全て解いた後に、不明な語句や文法事項について漢和辞典や文法テキスト等を調べながらチェックするとよいだろう。 【授業・復習】音読を推奨したい。また間違えた所の徹底復習は極めて重要である。全文訳は8割以上正確にできるようになりたい。
生徒への一言	高3での漢文学習は週当たり2時間と授業が増える。これは「大学入試に必要な知識を授業で確実に身につけてほしい」という考えと、「演習量を確保することで、現役生でも合格できるだけの知識と能力を獲得してほしい」という考えに基づいている。授業と家庭学習をうまく組み合わせ、漢文読解力の向上に努めてほしい。

月	授業予定
4月	教科書や副教材・自主作成プリント・辞書等を用いて、文法事項の復習を行う。
5月	5～6月からセンター試験対策が始まる。上述のように「予習」をしっかりやって授業に臨むことが重要である。（担当教員からの指示にも注意してほしい）
6月	センター試験対策として「センター試験国語過去問題」（尚文出版）及び教員のオリジナル教材などで基礎的事項の復習から応用まで目標に合わせた学習が始まる。
7月	同上
8・9月	同上

	9月下旬 前期期末考査
10月	同上
11月	同上
	11月下旬 後期中間考査
12月	同上
1月	国公立大学受験者のうち希望者に対して記述問題の添削指導を行う。
2月	国公立大学受験者のうち希望者に対して記述問題の添削指導を行う。
3月	国公立大学受験者のうち希望者に対して記述問題の添削指導を行う。